

令和5年秋開始接種（オミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチン）を実施しています

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから今年で4年目となります。ピーク時と比べ感染者数は減少傾向にあるものの、依然として感染は続いている状況です。また、65歳以上の方や基礎疾患のある方は感染により重症化しやすく、若い方でも感染による後遺症のリスクがあるため、未だ注意が必要です。

感染・重症化予防の一つである新型コロナウイルスワクチンの秋開始接種を希望する方は、下記をご覧ください、お問い合わせください。

- ▶接種可能期間 令和6年3月末まで
- ▶接種対象者 初回接種を完了した全ての方
- ※新型コロナワクチンの最終接種日から3か月以上経過した方。
- ▶接種費用 無料
- ▶接種日と予約の申込について

集団接種（町民センター）

- ◆12月1日(金)、2日(土)で終了となります。

個別接種（千葉内科医院）

接種期間 令和6年3月末まで

※ワクチン供給状況により短くなる場合もあります。

- ◆12歳以上の方が予約可能です。

接種券一体型予診票（予約日・指定日の記載なし）等書類一式を持参のうえ、診療時間内に医院窓口にて予約申込をお願いします。

乳幼児・小児の個別接種（湖東厚生病院）

- ◆6か月～4歳児（乳幼児接種）

接種日 12月15日(金)、令和6年2月9日(金)

- ◆5歳～11歳児（小児接種）

接種日 12月8日(金)、22日(金)、令和6年1月12日(金)

年齢（月齢）や最終接種日により追加接種日が限定される場合もあります。届いた通知をご確認いただき、お申し込みください。

初回接種を終えていない方

→これから1回目接種を希望する方は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

※初回接種は、5歳以上は2回接種、6か月～4歳は3回接種をさします。

町健康福祉課 ☎852・5180

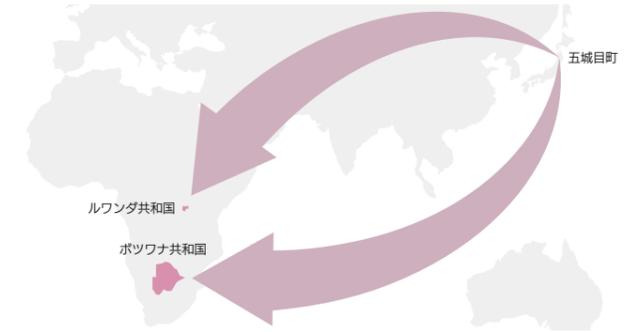
JICA海外協力隊候補生 × 五城目町

—アフリカでの活動を前に、本町での課題解決に挑む2人の姿を追う—

JICA海外協力隊グローバルプログラム

日本国内の自治体で課題解決の経験を積むことで、将来、国外で活動する際の様々な能力を養う「JICA※海外協力隊グローバルプログラム」。当プログラムに参加し、10月8日～12月22日まで本町で活動予定の、奈良県出身・東谷拓馬さん（29歳）と神奈川県出身・平石守さん（26歳）2人の姿を追いました。

※JICA：国際協力機構。開発途上国において、技術や医療を提供するなど、様々な支援を行う。



東谷 拓馬さん 「現地の方と同じ目線で様々な経験を共有したい」



奈良県出身の29歳。プログラム終了後はアフリカ大陸のルワンダ共和国へ派遣予定

現地の人々と同じ目線に立ち、大変さや楽しさを共に分かち合うという経験は、ルワンダ共和国での活動でも必ず役に立つと思います！

活動当初は、「少子高齢化」や「空き家問題」といった、地方自治体が一般的に抱える課題を探求することに注力していたという東谷さん。しかし、より深く活動を進める中で、課題も魅力も、実際の暮らしの中で人と関わりあひながら見つけていくことが重要であると認識するようになったそうです。

そんな東谷さんが着目したのが

「教育」。現在は、朝市通りの「ただのあそび場」内にある、10～18歳の子どもたちを対象としたデジタルテクノロジー施設「ハイラボ」で活動しています。デジタル技術に関することは初心者だという東谷さんですが、子どもたちと共に一から学ぶ姿は、老若男女問わず人が育つまちづくりに貢献するはずだと語ります。

平石 守さん 「その地に残り続ける人間関係の構築に貢献したい」



神奈川県出身の26歳。プログラム終了後はアフリカ大陸のボツワナ共和国へ派遣予定

ボツワナ共和国では、自身が協力隊としての活動を始めてからも、その地に残り続けるような人々のつながりをつくっていったらと思います！

はじめは、地域課題の解決に向け、町の改善点を模索しようと活動を始めた平石さんですが、当初は活動をうまく進められなかったそうです。平石さんは、「町の魅力より改善点ばかりを考えてしまったことが原因でした」と振り返り、今は「町の良いところを伸ばして広げていくこと」を目標として活動に取り組んでいます。

そんな平石さんは現在、本町の集落支援員である八嶋美恵子さんと共に、店舗「貸し棚 おうみや」で活動中。来店者が好きなものを持ち寄り交流する場において、人々の新たなつながりづくりを支えることで、自身がグローバルプログラムを終えてからも町に残り続ける人間関係の構築に貢献したいと語ります。

五城目小学校で特別授業を行いました！

11月15日、東谷さんと平石さんは、五城目小学校の階段教室で特別授業を実施しました。授業では、2人の過去の経験談などを交え、「多様な価値観を互いに認め合うために必要な考え方」や「まだ誰も見つけていない五城目の魅力」などについて、児童と共に考えを深めました。



がんばる人にまる

(敬称略)

第17回全町なわとび大会(八郎湯町)

- ◆小学3年女子の部 二重とび
 - ▶第1位(27回) 工藤 杏夏(五城目小3年)
- ◆小学3年女子の部 1回旋1跳躍
 - ▶第1位(267回) 工藤 杏夏(五城目小3年)
- ◆小学2年女子の部 二重とび
 - ▶第1位(2回) 工藤 陽日(五城目小2年)
 - ▶第2位(1回) 工藤 桃花(五城目小2年)

第15回潟上市柔道大会

- ◆高学年の部
 - ▶優勝 阿部 涉真(五城目小6年)

第12回男鹿潟上南秋交歓ミニバスケットボール大会

- ◆男子の部
 - ▶準優勝 五城目男子ミニバスケットボールスポーツ少年団
 - ◆女子の部
 - ▶第3位 五城目女子ミニバスケットボールスポーツ少年団
- (※男女ともに12月の全県大会へ出場)

県中学校秋季柔道大会

- ◆男子個人 ▶3位 一関 高德(五城目一中2年)
- ◆女子個人 ▶3位 工藤 美桜(五城目一中1年)

私たちと一緒に働きませんか
乗務員募集!

ご連絡をお待ちしております

営業時間 6:00~22:00

五城目タクシー 五城目町字七倉51-13 ☎018・852・2160

年賀状・喪中ハガキ印刷

最短翌日仕上げ 承ります!

1色20枚 2,300円から

ハガキ代別 税込み2,530円

湖東印刷所 ☎852・2430